

公表:令和 5年 4月 1日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス ほしぞら

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7				できるだけ狭さを感じることがないように工夫を重ねる。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	1			現在、基準人員以上の職員配置ではございますが、さらに充実することができるよう努める。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1		見通しを持って目で見てわかるように工夫を行っている。	改めてお子さん一人一人が理解できることを目指し、見通しを持ちやすい工夫を行う。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7			毎日の清掃、消毒等は確実に実行している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための話し合いに、広く職員が参画しているか	7			月に4回会議を開催してきた。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			保護者評価を毎年実施し、意向を反映できるように努めている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			ホームページで公表するとともに、利用保護者には結果を配布している。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		療育等支援事業を活用し研修を実施してきた。	年度後半には開催が難しくなってしまうことから定期的に開催できることを目指す。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7			個別支援計画会議等を実施している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			共通のアセスメントシートを活用している。	
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			ガイドラインに沿った支援計画を行っている。	
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7			日々の活動や療育は個別支援計画をベースに作られている。	

	⑬ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			月に4回の会議で話し合いを進めている。	
	⑭ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			月に4回の会議で話し合いを進めている。	
	⑮ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7			お子さまの状況を踏まえ、個別支援計画を基に行われている。	
	⑯ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			毎朝打ち合わせ等は行われている。	
	⑰ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			記録に関しては毎日行われている。	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			最長を6ヶ月としているが、目標が達成されたお子さまに関しては、時期に関わらず目標の変更を行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			管理者が出席している。	
	⑳ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7			要対協や相談室・関係機関と積極的に連携を図っている。	
	㉑ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7			保護者の同意を得て情報共有をさせていただいている。	
	㉒ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7			保護者の同意を得て、必要に応じて会議を開催したり、書面で情報を伝えている。	
	㉓ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			療育等支援事業を活用し研修を実施していただいている。また、障がい児地域支援マネージャーに助言をいただくこともある。	
	⑳ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			連絡帳や送迎時に引継ぎを行っている。また、共通認識が持てるように話し合いを密に行っている。伝わり切らない活動に関しては毎日のInstagram更新を見ていただけるように働きかけている。	
	㉑ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援を行っているか	7			必要に応じて事業所内相談支援を行っている。	
	㉒ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時に説明させていただいている。変更があればその都度配布物で周知を行っている。	

保護者への説明責任等	⑳	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7			契約時に説明させていただいている。	
	㉑	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			保護者からの相談に関しては、できるだけ早急に回答している。参観する機会を設定し、場面で助・説明等も行っている。	
	㉒	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			相談を受けた内容に関しては、できるだけ早急に回答できるように努めている。	
	㉓	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			月に1度の通信配布や、毎日の活動をインスタグラムに投稿している。	
	㉔	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7			十分配慮しながら取り扱っている。	
	㉕	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			お子さんに応じた対応を心がけている。	
非常時等の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7			各種マニュアルに関しては、契約時に伝えている。防犯訓練等も実施している。	マニュアル等に関しては改めて周知するとともに、訓練等も実施していく。
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			定期的に火災訓練、非常災害の訓練を実施している。	
	㉘	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7			事前の医療状況は必要に応じて聞き取りを行っている。また、変更があった際には保護者の方から窺うことができている。	
	㉙	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	7				現在医師の指示がある児童は通所していない状況である。
	㉚	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			ヒヤリハットがあった際に共有し、資料としてして保管しスタッフがいつでも閲覧できる状態である。	
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			入職時には必ず虐待防止研修を実施している。また、会議等でも虐待防止に努めている。	
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7			身体拘束の要件を話し合い、実施している。また、記録、保護者への説明等も行われている。個別支援計画にも記載している。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。